

(案)

令和3年1月 日

沼津市長 頼重 秀一 様

沼津市男女共同参画推進委員会
委員長 犬塚 協太

第5次沼津市男女共同参画基本計画について（答申）

令和2年11月11日付け沼企地第358号にて諮問のありました第5次沼津市男女共同参画基本計画について、沼津市男女共同参画推進条例（平成20年3月21日沼津市条例第10号）第11条第2項の規定に基づき別添のとおり答申します。

第5次沼津市男女共同参画基本計画（案）の答申について

令和2年11月11日、令和3年1月27日に男女共同参画推進委員会を開催しました。主な意見と修正点（体系順）は以下のとおりです。

(1) 3つの横断的視点

「横断的視点」は、すべての施策にその視点を入れるのが特徴であり、本計画案は①男性中心型労働慣行等の変革と女性活躍 ②女性への暴力など人権侵害の徹底的な排除を打ち出すことで、より具体的な目的が示された計画となっている。

修正点

- ・コロナ禍を踏まえた計画とするため、更に3つ目として③より弱い立場の女性の安全・安心な生活基盤の確立を加えるとともに、横断的視点を体系に組み込む。
- ・社会経済情勢の混迷により男女共同参画の課題への対応をより一層加速させることが求められていることや、支援を必要とする方が誰一人取り残されることがない旨を明記する。

(2) 人権尊重とDV防止の徹底

DV被害者は女性が多いが、母が父からDVを受けているのを子供が見ることで「面前DV（間接的なDV）」につながる問題がある。また、しつけ・教育と暴力を履き違えている人も多い。

修正点

- ・本計画がDV防止法に基づく市町村計画として組み込まれる点を踏まえ、暴力は複合的・連鎖的であり、暴力の意味や種類、範囲の広さがあることを明確に示す。

(3) SOGI（ソジ・ソギ）による性の多様性の理解

性的マイノリティに関して、「LGBT」は古い表現になりつつある。また、LGBTの認知度を上げるものではなく、「普通と違う特殊な人」という理解となってはならない。一方で、「SOGI」は多数者や少数者は関係なく、すべての人が当てはまるものであるため、SOGI（多様性）への理解などの最新の表現で修正していく必要がある。

修正点

- ・可能な限り「性的マイノリティ」の表現を減らし、「多様な性」や「性の多様性」などの「SOGI」の考え方に沿った表現に変更する。

(4) 政策方針決定過程への女性の参画拡大

女性の活躍推進は、女性のキャリア推進とセットであるため、企業等は機会を与え能力を伸ばす女性のキャリア教育が必要である。また、積極的な女性の管理職登用について、能力で女性が選ばれている旨の表現も必要である。

修正点

- ・具体的施策に、女性活躍の機会を与え能力を伸ばす「キャリア教育」の取り組みを追加する。
- ・女性の登用が能力や実績で選ばれることにより、自身の自己実現を図るとともに、キャリア形成の指標となるロールモデルが増える旨を追加する。

(5) 働き方改革とワークライフバランスの実現

家庭内において、未だ多くの女性が家事時間を補っている状況にある。男性が「家庭」の時間をどれだけ増やさせるかを考える点で、男性が家事育児を敬遠せず前向きに取り組めるよう、イメージ作りが大切である。

修正点

- ・施策の方針を「家庭における男性活躍」という表現に変更する。具体的施策は「家庭の中で男性が活躍する」などのポジティブなイメージで表現する。